

2024年 新年のご挨拶と抱負

災害救援インフラとしてのフードロス削減ボックス「fuubo」の展開強化へ

～2023年9月より東京都内オフィスビルを中心に試験的に導入をしていた、
災害救援インフラ機能を伴った fuubo を 2024年より全国へ本格的に展開～

フードロス削減ボックス「fuubo（フーボ）」を展開する ZERO 株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役：沖杉 大地、四辻 弘樹、以下、ZERO）は、fuubo 内に災害備蓄品をストックし、「災害救援販売機」としてのインフラ機能の拡充を本年より一層強化してまいります。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆様のおかげで、fuubo を駅や企業のみならず、大学や病院、宿泊施設等に累計69台設置し、フードロス商品の提供を幅広い方法で行うことができました。また、TV や新聞、雑誌にも数多く取り上げていただき、認知いただく機会も増えた年になりました。

本年も、皆さまにとって、より「身近で・便利で・不可欠な」存在となっていけるよう、活用手段・機能を多様化していく必要があると考えています。その一つの機能が、『災害救援』です。

fuubo に災害備蓄品をストックすることで、フードロスの販売・提供だけでなく、災害救援販売機としての役割を担うことが可能となります。

これまで大きな災害が起きると、避難所では食料すら足りない状況が必ず引き起こされ、生活用品の大量買いなども起こっています。災害の発生により万が一ライフラインが寸断されてしまった場合、その復旧や支援物資が届くまでの期間、fuubo を一時的にフードロスや衛生用品等を提供するインフラとして活用ができます。

本年は、昨年の取り組みを本格運用させ、急な災害に備えてより一層災害インフラを強化してまいります。



■災害時のインフラとしての活用

通常時、fuubo は電子ロック機能が稼働しておりますが、停電時においてキーロックの手動解除が可能です。災害の発生により、ライフラインが寸断されてしまった場合、その復旧や支援物資が届くまでの期間、fuuboを一時的にフードロスや衛生用品等を提供するインフラとして活用ができます。

昨年の試験運用ではトイレトーパーや簡易トイレを中心に、救急キットや生理用品など、災害時に需要が増え品薄状態になりうる商品を納品しました。

今後は上記以外にも需要のある飲料水、紙おむつ、非常用バッテリーなどの災害用品等も納品を計画しています。

以上により、フードロス及び Co2 排出削減による SDGs の推進、災害救援販売機としてのインフラ機能の拡充等、fuubo の付加価値の向上を図ります。

■fuubo の概要

「fuubo (フーボ)」はまだ美味しく食べることができるにも関わらず、納品期限切れや季節限定パッケージなどにより場合によっては廃棄されてしまう可能性のある食品を、お得に提供しているフードロス削減 BOX です。フードロスを買うことに同意して会員登録を行ったユーザーは、専用 WEB サイトから受け取りに行けるボックスを選び、その中に入っている商品をオンライン決済にて購入することができます。

2021年6月にサービスを開始し、24年3月までに累計で500台以上の設置を見込んでおります。さらに、フードロス削減量を Co2 排出削減量に変換することで、SDGs の取り組みの見える化が可能となっております。

サービスサイト：<https://fuubo-nofoodloss.com/>

■会社概要

商号 : ZERO 株式会社
代表者 : 代表取締役 沖杉 大地、四辻 弘樹
所在地 : 東京都台東区東上野 2-20-6 会計センタービル 5F
設立 : 2022年3月
URL : <https://www.nofoodloss.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 TEL : 080-7657-7674 MAIL : info@zero-sus.com